

西サハラ全国キャラバン 2023 in 大阪
主催・大阪東ティモール協会 共催・西サハラ友の会

[西サハラ]

自由で平和な祖国へ帰還できる日を待ち望んで
難民キャンプ出身女性活動家

[ファトマ・ブラーヒームさん講演会]

2023年11月5日(日) 14:30-16:30 (14:00 開場)

大阪市立総合生涯学習センター 第5研修室 (5階)

(大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル 5階)

資料代: 500円 (英日通訳付き)

問い合わせ先: 大阪東ティモール協会 (akimatsuno@mac.com)



西サハラの旗

どなたでもご参加
いただけます。



ファトマ・ブラーヒームさん

アルジェリア・チンドウーフのサハラウィ難民キャンプに生まれ育つ。オラン第一大学、同大学修士課程(視聴覚学)修了。イタリアの開発NGO勤務。西サハラ学生連合(UESARIO)外交委員会アメリカ担当として活動。モロッコが築いた分離壁「砂の壁」に抗議する「壁に向かって叫ぶ」のメンバー。アラビア語、スペイン語、英語を使える。好きなことは読書、外国語、旅行。

西サハラとは?

<アフリカ最後の植民地>西サハラは1975年、スペインからの独立過程でモロッコに侵略され、以来その80%が占領下にあります。国連は1991年に住民投票の実施を決めました。モロッコのサボタージュと大国の思惑によって実現していません。アルジェリアの難民キャンプに拠点を置くサハラウィ(西サハラの人びと)は「サハラ・アラブ民主共和国」の樹立を宣言し、占領下に暮らすサハラウィは激しい弾圧を受けながらも非暴力の抵抗運動を続けています。難民キャンプには約18万人が暮らし、住民投票を経て、解放された祖国に帰れる日を待ち望んでいます。

サハラウィ難民キャンプ

砂漠の中のキャンプは5つの地区に分かれ、それぞれ知事がいるという自治組織になっています。キャンプには「サハラ・アラブ民主共和国」の政府が置かれています。食料は国際援助、特に国連の援助に頼っており、栄養が偏る、栄養不足といった問題があります。水も外部からの供給に頼っていて十分にはありません。学校は高校まで。病院もありますが、医師・看護師不足で、医薬品、設備も不十分です。



赤い線は全長2,700kmの「砂の壁」。その両側には多数の地雷が埋設されている。

サハラウィ難民キャンプの全景。
写真・岩崎有一(2019年)

